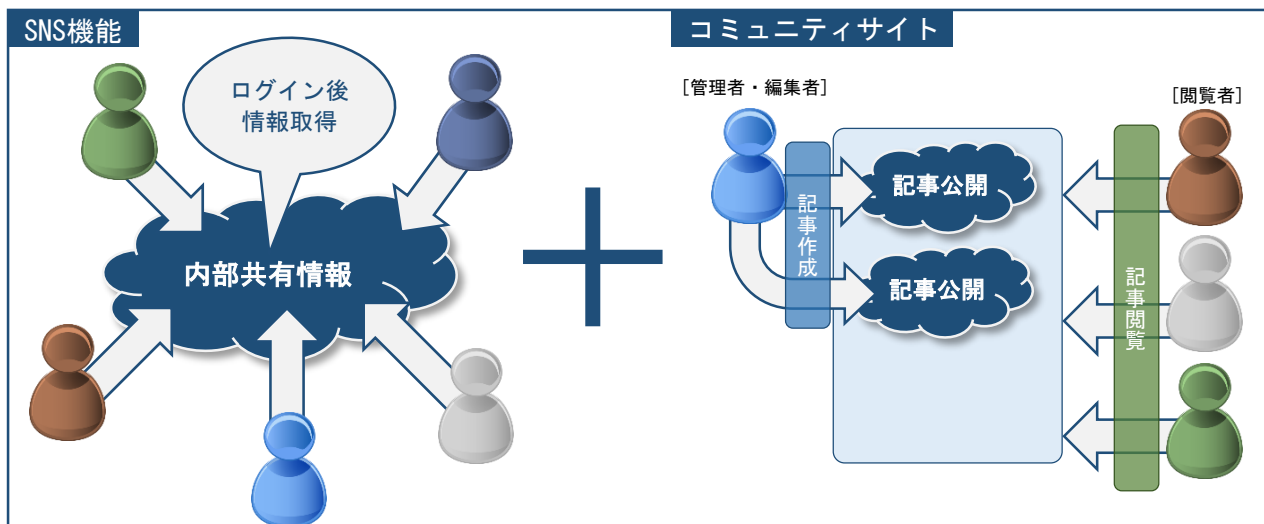


eコミグループウェアとは

eコミグループウェア(以下eコミ)とは、従来の参加型コミュニティWebシステムを住民や市民グループ等利用者の視点から見直し、さまざまな利用シーンを想定して、地域の運営・経営(地域の問題解決方法を考える)の支援ツールとして作成されたCMS+SNSです。



一般的なSNS機能である会員向け情報共有、一般的なコミュニティサイトの不特定多数への情報発信の機能が利用できます。



サイト・グループページ

eコミグループウェアでは、1つのシステム（サイト）で、複数の団体、組織、個人に独立したWebサイトを提供できます。以下で、eコミにおける「サイト」「グループ」「グループページ」「サブサイト」などについてその概念を説明します。

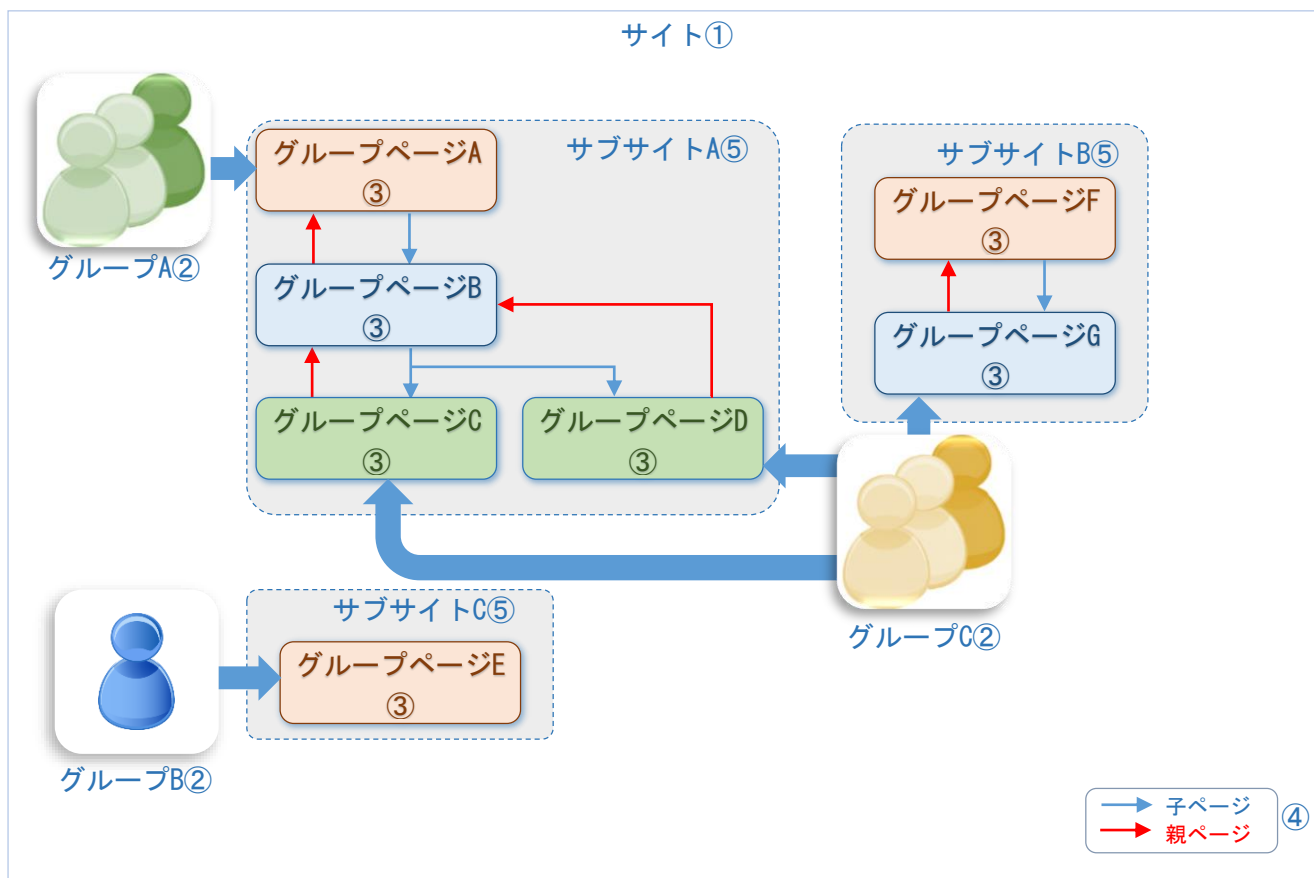
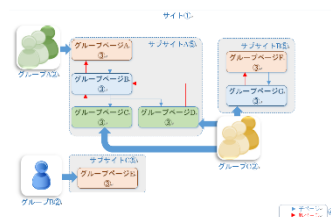


図-1

サイト

eコミサイトのことです。1つのドメインでつくられた1つのeコミグループウェアシステムのことです。以降「eコミ」と呼びます。(図-1①)



グループ

eコミを利用する団体（個人）を「グループ」と呼びます。(図-1②)



グループページ

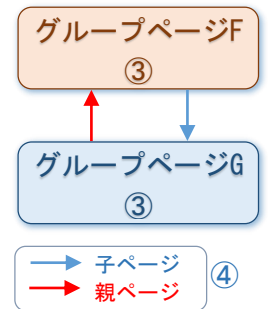
上記グループに割り当てられるサイト上のページのことです。サイト内で利用できるそれぞれのページのことを、グループに提供されるページという意味で「グループページ」と呼びます。(図-1③)



※ 「グループページ」は「ページ」と略する場合があります。

親ページ、子ページ

eコミでは、グループページに関係（繋がり）を持たせることが可能です。あるページから見て上位にあるページを「親ページ」、下位にあるページを「子ページ」と呼びます。また、どのページとも繋がりが無いページを「独立したグループページ」とします。(図-1④)



サブサイト

親子の上下関係にかかわらず、とにかく関係（繋がり）の有るグループの集まりを「サブサイト」と呼びます。(図-1⑤)

